

Event Report

イベントレポート
vol.
01

2020年1月16日に行われたイベント「Biz Forward 2020」の士業向けセッションを記事にしました

サクセスエール税理士法人

経営を前進させる 中小企業のバックオフィス最適化事例

コンサルに強い税理士法人S・Yと、アウトソーシングに強い株式会社仙台ビジネスサポートが統合し、
2019年に誕生したサクセスエール税理士法人。
「マネーフォワードクラウド」をはじめとしたクラウドツールを活用した
次世代のバックオフィスサービスの構想から社内の取り組みまで、
サクセスエール税理士法人の代表社員・青谷 貴典様にご講演いただきました。



青谷 貴典氏

講師

サクセスエール税理士法人 代表社員(公認会計士/税理士)

1979年茨城県生まれ。法政大学卒業後、監査法人トーマツ東京事務所に入所し、上場会社等の財務諸表監査および内部統制監査、上場支援業務、決算早期化支援等を経験。蕎麦屋を創業した父が日々奮闘する姿を幼少の頃より見てきた体験から、中小企業経営者の支援を志し、2013年に創業。企業そして地域社会へ貢献するため、経営者の最も近くで経営者の痛みを知るはずの会計事務所の役割をアップデートすることをミッションとする。

自計化でも記帳代行でもない、 第三のバックオフィスサービス

中小企業のバックオフィスは1〜2名ほどの小規模で回しているところが多く、属人化、ブラックボックス化していることがほとんどです。業務改善や運用支援の受注をいただき、お客様で自計化できるように業務デザインの見直しを行ってきましたが、担当社員の不正が発覚したり、適性のある方がなかなか見つからなかったりと、担当者が不在という状況が続きました。我々が志を高く持つても、なかなか理想形には辿り着かないということを痛感しました。だからといって、従来の記帳代行ではスピード感に欠け、会計事務所側が企業の期待に応えられないリスクがあ

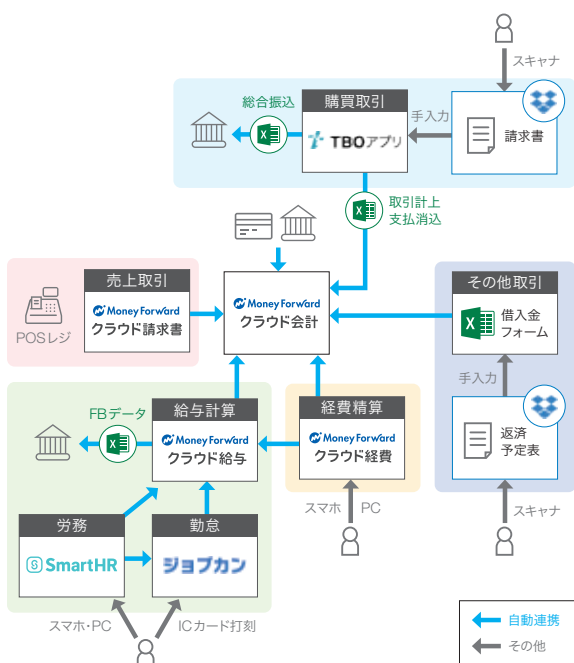
POINT 1

自計化や記帳代行との違い

必要な機能	自計化	記帳代行	クラウドを活用した新バックオフィス
早い	△ ヒトに依存	× 月次、ラグあり	○ 週次、ラグなし
正しい	△ ヒトに依存	△ 情報不足	○ 機械と人のチェック
経営に使える	△ ヒトに依存	× 記帳が目的	○ 経営管理が目的
安定性	× ブラックボックス	△ ブラックボックス	○ 標準化
コスト	△ 採用教育費負担	○ 短期的に	○ 長期的に

POINT 2

具体的な設計事例



試行錯誤してたどり着いた 誰でも簡単に使えるツール

我々だけではなく、お客様も使うわけです。

中小企業の経営を前進させるために、会計事務所は何ができるのか？そう考えたときに、「マネーフォワードクラウド」などのクラウドツールを活用すれば、経営判断に使える情報をタイムリーに経営者と共有できるのではないかと思い立ちました。クラウドツールにより「早い」「正しい」「使える」「生きた」会計データを実現することで、中小企業の経営の前進に貢献できるのではないかと考えました。

から、機能が多くて使いこなせなかったら意味がありません。お客様への導入の前に、まずは自社の経理・総務体制をクラウドツールに切り替えました。自分たちで導入してみることで、便利さを再確認できました。

「マネーフォワードクラウド会計」を中心に、「クラウド請求書」「クラウド経費」「クラウド給与」「SmartHR」「ジョブカン」「Dropbox」などを導入しました。また、手軽な情報共有ツールとして「Chatwork」も利用しています。「SmartHR」や「マネーフォワードクラウド」の通知が来るように設定できるほか、自動送信の機能もあるので、お客様に対して「年末調整の資料を準備してください」などのメッセージを送

新しいシステムや価値観を創れるような経営者を輩出する

公認会計士の社員が、一般社員やパートスタッフにマンツーマンで実践型のワンデイ指導をすることを、当事務所では「ブートキャンプ」と呼んでいます。実際のお客様の情報を使って、業務フローを手書きで作成し、それを「PowerPoint」に清書します。実際にシステムを連携し、連携データを取り込み、仕訳ルールの設定をします。公認会計士の社員が後で「その操作は非効率だからダメ」「エクセルのショートカットが使えていない」と細かいことまで口を出します。そこまでやることで、初めてその社員が何でつまづいているかがわかってきます。

実際にブートキャンプを受けた職員は、「ピジュアル化することで、無駄や漏れが見えられた」「お客様と共通認識を持つことで、慣習を打破できた」「資料が揃わないといった業務ストレスが減った」「チェックがすぐ済んだ」と気づきが多いようです。

サクセスエール税理士法人では、「新しいシステムや価値観を創れるような経営者を輩出する」をビジョンに掲げています。今までの常識に囚われない新しい仕組みや新しい価値観にチャレンジできる経営者を、お客様先でも社内でもつくっていきたくて考えています。今の社会の閉塞感や日本の閉塞感は、新しいことに対する恐れから来ていると思います。我々自身がロールモデルとなることで、お客様に勇気を与えられる。そういう存在を目指してまいります。

≫≫ 当日の動画を無料でプレゼント！ 詳しくはP21をご覧ください ≪≪